

法人(事業所)理念	教育の力により、一人ひとりの可能性を最大限支援することによって、共生社会の実現に貢献します			
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが主体的に課題に取り組めるよう、子ども自身の力を信じ、思いに寄り添った関わりをもつ。 社会生活に必要な力を育むために、一人ひとりに合わせた課題をスマールステップで設定し、成功体験に繋げる。 地域や関連機関と密接に連携し、子どもとその家族に最適な支援を検討し、提供を行う。 			
営業時間	10 時 0 分 から	17 時 30 分 まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
	支 援 内 容			
支援方法	個別課題		集団・小集団課題	
本人支援	健康・生活	生活スキルとしての清潔の維持や身だしなみ管理の課題 食具、筆記具等生活で使用する物の練習 生活スキル獲得のための食具の操作や道具操作などの課題		清潔への理解と習慣のための清掃活動(ぞうきんの使用、ほうきの掃き方、ロッカーやカバンの中の整理等) 教室に慣れ、安心して通うためのスケジュールの理解と流れに合わせた活動 生活に必要なスキルと知識の習得のための活動
	運動・感覚	活動時や課題実施時の姿勢保持の課題 視空間認知の発達や目と手の協調性ためのビジョントレーニング課題 指先の機能の向上のための微細運動(例:洗濯ばさみ、ブツイン等)の課題		指先の感覚や操作に関わる活動(ハサミ操作、紙やぶき、ブツイン等) 模倣や体幹、粗大運動に関わる活動(体操、サークル運動、ボール運動等) 指先の操作や巧緻性のための微細運動(製作等)
	認知・行動	数字の理解や計算の習得に関わる課題 知覚や認知に関わる色や図形を用いた課題(マッチング等) 時計や数量についての理解に関わる課題		金銭の理解に関わる活動(お買い物練習) 記憶保持に関わる活動(覚えて真似っこ、神経衰弱等) 物の上位概念理解を促す活動(仲間分け)
	言語・コミュニケーション	文字や文章の読み書きの理解のための課題 コミュニケーションスキルの獲得・向上のための(指差し、身振り、サイン等)の課題 人との相互作用によるコミュニケーションとしての1対1での関わりの課題		文字やイラストを用いたコミュニケーションの活動(かるた、絵しりとり等) 口頭での指示理解や説明内容の理解のための活動(スリーヒントクイズ、メモをとってみよう) 口頭以外でのコミュニケーションの練習活動(ジェスチャーゲーム、絵カード等)
	人間関係・社会性	社会でのルール理解や他者との関わりに関する課題(SST) 生活場面で必要な場面理解や他者の感情理解の課題(SST) 集団への参加や集団での指示理解のための課題		集団の中での順番、工程を守るための活動(よく聞いてやってみよう、順番にできるかな) 注意・集中を目的とした活動(30秒チャレンジ、落とさず進めるかな等) 複数の利用者同士の適切な関わりの理解のための活動(貸し借り、勝ち負けのあるゲーム等)
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に対して、発達検査や本事業所内での様子、家庭での情報を踏まえてアセスメントした内容を共有する。また、現状の発達段階や特性についての対応も明確にし、本事業所で対応していることを家庭でも取り組めるように共有していく。 保護者との面談や支援内容の共有の時間を通じて、発達段階における基本対応や特性に関する基本情報の提供を行い、家庭で可能な適切な対応に関して助言を行う。 		移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 将来を見据えた利用者の現在の課題を他機関と共有し、自立のために出来ることを増やす支援を行う。 日常的な連携に加え、利用者に対して就学に向けてできる支援について共有を図る。
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 当事業所で作成の個別支援計画を他機関と共有し、課題として取り組んでいることを日常で実践できるように支取り組むことで、利用者に対する支援の統一を図る。 園、他事業所と利用者に対して支援対応を一貫するために、対応方法について定期的に連携を行う。 		職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 経験年数別の階層別療育研修・組織人研修、虐待防止研修、感染症対策防止研修等の実施。 心理士等専門家を交えたミーティング、事例検討の定期実施。
主な行事等	避難訓練(火事、地震、水害、防犯等)、イベント活動、その他			